

【表紙】

【提出書類】 半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の5第1項の表の第1号

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2024年8月8日

【中間会計期間】 第129期中(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

【会社名】 住友重機械工業株式会社

【英訳名】 SUMITOMO HEAVY INDUSTRIES, LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 下村真司

【本店の所在の場所】 東京都品川区大崎二丁目1番1号(ThinkPark Tower)

【電話番号】 03(6737)2343

【事務連絡者氏名】 経理部長 佐瀬永一

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区大崎二丁目1番1号(ThinkPark Tower)

【電話番号】 03(6737)2343

【事務連絡者氏名】 経理部長 佐瀬永一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第128期 中間連結会計期間	第129期 中間連結会計期間	第128期
会計期間	自 2023年1月1日 至 2023年6月30日	自 2024年1月1日 至 2024年6月30日	自 2023年1月1日 至 2023年12月31日
売上高 (百万円)	510,059	520,353	1,081,533
経常利益 (百万円)	32,889	33,858	70,250
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益 (百万円)	22,476	23,509	32,742
中間包括利益又は 包括利益 (百万円)	48,786	59,533	63,905
純資産額 (百万円)	620,005	667,407	627,464
総資産額 (百万円)	1,203,463	1,256,801	1,200,857
1株当たり中間 (当期)純利益 (円)	183.49	193.26	267.30
潜在株式調整後1株 当たり中間(当期) 純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	50.8	52.5	51.6
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	20,922	11,699	65,370
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	21,426	23,811	43,271
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	7,882	8,575	17,207
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高 (百万円)	86,679	100,312	100,235

(注) 1 当社は中間連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移につきましては記載しておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 金額は、単位未満を四捨五入して表示しております。

#### 2 【事業の内容】

当中間連結会計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容につきましては、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は次のとおりであります。

メカトロニクスセグメントにおいて、連結子会社であった住友重機械精機販売株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅しました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当中間連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクにつきまして、重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当中間期における当社グループを取り巻く経営環境は、国内において製造業を中心に設備投資は緩やかな回復に向かう中、半導体市況の持ち直しの動きに足踏みが見られるなど、一部に弱さが見られました。海外においては、米国では設備投資が底堅く推移する一方、欧州では金融引き締めによる景気悪化により、英国及びドイツを中心に弱含みが続きました。中国においては、不動産市況の悪化に端を発した景気減速が継続しており、生産、消費の持ち直しの動きは鈍く需要の低迷が続き、その影響は東南アジアにも波及しています。加えてロシア・ウクライナ、中東問題などの地政学上リスクが残るなど、依然として不透明感が残る状態でもありました。

このような経営環境のもと、当社グループは「中期経営計画2026」に基づき、製品・サービスによる社会課題解決を通じて持続的に企業価値を拡大することをめざし、強靱な事業体の構築へ向け、収益力改善、資本効率向上、新事業探索の強化を遂行するとともに、SDGsへの貢献拡大及び環境負荷低減への取組み強化などの施策を推進してまいりました。

この結果、当社グループの受注高は4,531億円(前年同期比12%減)、売上高は5,204億円(前年同期比2%増)となりました。損益面につきましては、営業利益は333億円(前年同期比9%増)、経常利益は339億円(前年同期比3%増)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は235億円(前年同期比5%増)となりました。

各セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

#### メカトロニクス

中小型の減・変速機は中国での市況低迷が継続、またモータ、インバータでは欧州での顧客の在庫調整の影響があり需要が減少したことから、受注、売上、営業利益ともに減少しました。

この結果、受注高は987億円(前年同期比7%減)、売上高は1,010億円(前年同期比6%減)、営業利益は18億円(前年同期比68%減)となりました。

#### インダストリアル マシナリー

プラスチック加工機械事業は、中国での電気電子関連の需要が停滞、また欧州においても投資の冷え込みが継続したことから受注、売上、営業利益ともに減少しました。

その他の事業は、半導体市況の停滞に伴う顧客の在庫調整や投資先送りの影響などを受け、受注は減少しましたが、受注残が高い水準であったこともあり、売上、営業利益ともに増加しました。

この結果、受注高は1,264億円(前年同期比10%減)、売上高は1,311億円(前年同期比2%減)、営業利益は91億円(前年同期比19%減)となりました。

#### ロジスティクス&コンストラクション

油圧ショベル事業は、国内において前期にあった価格改定前の駆け込み受注がなくなったことや、米国での前期の先行発注の反動減などにより受注は減少したものの、為替差もあり売上は増加し、営業利益は国内での価格改定効果もあり増加しました。

その他の事業は、建設用クレーン事業では、北米、国内とも需要が底堅く推移したことから受注、売上、営業利益ともに増加しました。また、運搬機械事業では、製鉄や造船向けでの大型案件があったことから受注は増加したものの、当期売上対象となる案件が少なかったことから売上、営業利益ともに前年同期並みとなりました。

この結果、受注高は1,672億円(前年同期比15%減)、売上高は1,962億円(前年同期比6%増)、営業利益は180億円(前年同期比46%増)となりました。

#### エネルギー&ライフライン

エネルギープラント事業は、欧州の発電設備の大型改造案件の減少により受注は減少しましたが、案件の工事進捗差により売上は増加し、営業利益は開発費の増加により微減となりました。

その他の事業は、新造船事業からの撤退により、2024年度以降の新規受注を停止したことなどから受注は減少し、当期売上対象となる案件が少なかったことから売上も減少したものの、個別採算の改善により営業利益は増加しました。

この結果、受注高は577億円(前年同期比13%減)、売上高は888億円(前年同期比9%増)、営業利益は36億円(前年同期比860%増)となりました。

#### その他

受注高は31億円(前年同期比7%増)、売上高は33億円(前年同期比7%増)、営業利益は9億円(前年同期比1%減)となりました。

### (2) 財政状態の状況

当中間連結会計期間末(2024年6月30日)における総資産は、前連結会計年度末と比べて受取手形、売掛金及び契約資産が134億円減少した一方、棚卸資産が430億円、有形固定資産が199億円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末比559億円増の1兆2,568億円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金が109億円減少した一方、有利子負債が334億円増加したことなどにより、前連結会計年度末比160億円増の5,894億円となりました。

純資産は、自己株式の取得により100億円減少した一方、為替換算調整勘定が355億円、利益剰余金が162億円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末比399億円増の6,674億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.9ポイント増の52.5%となりました。

### (3) キャッシュ・フローの状況分析・検討内容並びに資本の財源及び資金の流動性に係る情報

#### キャッシュ・フローの状況

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、117億円の資金の増加となり、前年同期に比べて92億円の減少となりました。これは、棚卸資産の増加幅は縮小しましたが、仕入債務の減少幅が拡大したこと及び法人税等の支払額が増加したことなどによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、238億円の資金の減少となり、前年同期に比べて24億円の減少となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出が増加したことなどによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、86億円の資金の増加となり、前年同期に比べて165億円の増加となりました。これは、自己株式の取得による支出が増加しましたが、有利子負債が増加したことなどによるものであります。

#### 資本の財源及び資金の流動性

当社は事業活動に必要な手元流動性について、現金及び現金同等物及びコミットメントラインの未使用額を合わせた金額を流動性として位置づけています。当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は1,003億円となりました。当社は複数の金融機関との契約によるコミットメントラインも保持しており、当中間連結会計期間末の未使用のコミットメントラインの総額は900億円であります。現預金、未使用のコミットメントライン額の合計で1,903億円を確保しており、当社の手元流動性は十分に確保されていると考えております。

当社グループの資金需要の主なものは、設備投資、M&Aなどの長期資金需要と当社グループの製品製造のための材料及び部品の購入などの運転資金需要であります。

資金の調達については、調達コストの低減と資金の安定調達の観点から、社債、コマーシャル・ペーパー等の直接金融と銀行借入等の間接金融の比率や、調達期間の分散を図りながら、その時々マーケットの状況から有利な調達手段を機動的に選択・活用しております。その結果、有利子負債残高は前連結会計年度末より334億円増加し1,956億円となりました。

#### (4) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当中間連結会計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

#### (5) 研究開発活動

当中間連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、141億円であります。

なお、当中間連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当中間連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	360,000,000
計	360,000,000

###### 【発行済株式】

種類	中間会計期間末 現在発行数(株) (2024年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2024年8月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	122,905,481	122,905,481	東京証券取引所 プライム市場	単元株式数 100株
計	122,905,481	122,905,481		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2024年1月1日～ 2024年6月30日		122,905,481		30,872		27,073

## (5) 【大株主の状況】

(2024年6月30日現在)

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	東京都港区赤坂1-8-1	20,135	16.74
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	東京都中央区晴海1-8-12	8,941	7.44
Northern Trust Co. (AVFC) Re Silchester International Investors International Value Equity Trust (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	英国・ロンドン (東京都中央区日本橋3-11-1)	6,944	5.77
住友生命保険相互会社	東京都中央区八重洲2-2-1	4,333	3.60
Northern Trust Co.(AVFC) Re U.S. Tax Exempted Pension Funds (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	英国・ロンドン (東京都中央区日本橋3-11-1)	3,572	2.97
住友重機械工業共栄会	東京都品川区大崎2-1-1	3,320	2.76
Northern Trust Co.(AVFC) Re Non Treaty Clients Account (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	英国・ロンドン (東京都中央区日本橋3-11-1)	2,671	2.22
The Bank Of New York Mellon 140042 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	米国・ニューヨーク (東京都港区港南2-15-1)	2,430	2.02
JPモルガン証券株式会社	東京都千代田区丸の内2-7-3	2,134	1.77
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1-1-2	2,000	1.66
計		56,478	46.97

(注) 1 上記のほか当社保有の自己株式2,658千株があります。

- 2 2020年2月7日付で公衆の縦覧に供されている変更報告書において、アセットマネジメントOne株式会社が2020年1月31日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当中間会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記「大株主の状況」には含めておりません。

なお、その変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等 の数(千株)	株券等保有 割合(%)
アセットマネジメントOne株式会社	東京都千代田区丸の内1-8-2	6,020	4.90
計		6,020	4.90

- 3 2020年12月4日付で公衆の縦覧に供されている変更報告書において、ブラックロック・ジャパン株式会社及びその共同保有者である以下の法人が2020年11月30日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当中間会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記「大株主の状況」には含めておりません。

なお、その変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数(千株)	株券等保有割合(%)
ブラックロック・ジャパン株式会社	東京都千代田区丸の内1-8-3	1,505	1.22
BlackRock Fund Managers Limited	英国・ロンドン	234	0.19
BlackRock Asset Management Ireland Limited	アイルランド共和国・ダブリン	133	0.11
BlackRock Fund Advisors	米国・カリフォルニア州	1,072	0.87
BlackRock Institutional Trust Company, N.A.	米国・カリフォルニア州	994	0.81
BlackRock Investment Management (UK) Limited	英国・ロンドン	392	0.32
計		4,329	3.52

- 4 2023年2月27日付で公衆の縦覧に供されている変更報告書において、Silchester International Investors LLPが2023年2月24日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当中間会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記「大株主の状況」には含めておりません。

なお、その変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数(千株)	株券等保有割合(%)
Silchester International Investors LLP	英国・ロンドン	16,569	13.48
計		16,569	13.48

- 5 2024年4月19日付で公衆の縦覧に供されている変更報告書において、三井住友信託銀行株式会社及びその共同保有者である以下の法人が2024年4月15日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当中間会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記「大株主の状況」には含めておりません。

なお、その変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数(千株)	株券等保有割合(%)
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内1-4-1	1,649	1.34
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	東京都港区芝公園1-1-1	3,313	2.70
日興アセットマネジメント株式会社	東京都港区赤坂9-7-1	2,952	2.40
計		7,914	6.44

- 6 2024年5月7日付で公衆の縦覧に供されている変更報告書において、野村証券株式会社及びその共同保有者である以下の法人が2024年4月30日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当中間会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記「大株主の状況」には含めておりません。

なお、その変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数(千株)	株券等保有割合(%)
NOMURA INTERNATIONAL PLC	英国・ロンドン	479	0.39
野村アセットマネジメント株式会社	東京都江東区豊洲2-2-1	6,642	5.40
計		7,121	5.79

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

(2024年6月30日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,657,400		
	(相互保有株式) 普通株式 3,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 119,856,400	1,198,564	
単元未満株式	普通株式 388,681		
発行済株式総数	122,905,481		
総株主の議決権		1,198,564	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,900株(議決権19個)及び取締役等への株式報酬制度のために設定した株式交付信託に係る信託口が保有する当社株式66,000株(議決権660個)が含まれております。

2 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的には所有していない株式が200株あり、「完全議決権株式(その他)」欄に200株(議決権2個)を含めて記載しております。

3 「単元未満株式」欄には以下の自己保有株式が含まれております。  
当社 57株

## 【自己株式等】

(2024年6月30日現在)

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 住友重機械工業株式会社	東京都品川区大崎2-1-1	2,657,400		2,657,400	2.16
(相互保有株式) イズミ電機株式会社	愛知県大府市大東町3-32	3,000		3,000	0.00
計		2,660,400		2,660,400	2.16

(注) 1 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が200株(議決権2個)があります。なお、当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」欄に含めております。

2 取締役等への株式報酬制度のために設定した株式交付信託に係る信託口が保有する当社株式66,000株は、上記の自己保有株式に含まれておりません。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 中間連結財務諸表の作成方法について

当社の中間連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(1976年大蔵省令第28号)に基づいて作成しております。

当社の中間連結財務諸表は、第一種中間連結財務諸表であります。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、中間連結会計期間(2024年1月1日から2024年6月30日まで)に係る中間連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による期中レビューを受けております。

## 1 【中間連結財務諸表】

## (1) 【中間連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	104,458	103,904
受取手形、売掛金及び契約資産	1 289,861	1 276,462
棚卸資産	2 321,086	2 364,109
その他	35,280	37,495
貸倒引当金	2,400	2,270
流動資産合計	748,285	779,700
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
土地	111,169	112,382
その他(純額)	218,837	237,571
有形固定資産合計	330,007	349,953
<b>無形固定資産</b>		
のれん	19,312	20,332
その他	26,300	28,083
無形固定資産合計	45,612	48,415
<b>投資その他の資産</b>		
その他	84,862	86,691
貸倒引当金	7,909	7,957
投資その他の資産合計	76,953	78,734
固定資産合計	452,572	477,101
資産合計	1,200,857	1,256,801
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1 180,822	1 169,962
短期借入金	63,258	68,651
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	9,741	3,524
賞与引当金	7,753	7,079
保証工事引当金	12,164	12,516
その他の引当金	3,036	2,220
その他	129,555	119,771
流動負債合計	416,329	393,723
<b>固定負債</b>		
社債	40,000	60,000
長期借入金	39,231	53,407
退職給付に係る負債	33,836	36,534
再評価に係る繰延税金負債	20,408	20,408
引当金	161	168
その他	23,428	25,154
固定負債合計	157,064	195,671
負債合計	573,393	589,394

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,872	30,872
資本剰余金	25,203	25,203
利益剰余金	433,579	449,735
自己株式	1,177	11,200
株主資本合計	488,476	494,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,951	7,973
繰延ヘッジ損益	956	2,158
土地再評価差額金	40,307	40,307
為替換算調整勘定	72,163	107,693
退職給付に係る調整累計額	12,831	11,854
その他の包括利益累計額合計	131,295	165,668
非支配株主持分	7,693	7,130
純資産合計	627,464	667,407
負債純資産合計	1,200,857	1,256,801

## (2) 【中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書】

## 【中間連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日)
売上高	510,059	520,353
売上原価	392,474	391,216
売上総利益	117,584	129,138
販売費及び一般管理費	1 86,929	1 95,808
営業利益	30,655	33,330
営業外収益		
受取利息	667	773
受取配当金	333	763
為替差益	2,870	1,376
投資有価証券売却益	72	838
その他	1,431	1,160
営業外収益合計	5,372	4,910
営業外費用		
支払利息	1,061	1,745
特許関係費用	628	720
その他	1,449	1,916
営業外費用合計	3,139	4,381
経常利益	32,889	33,858
特別損失		
減損損失	304	375
特別損失合計	304	375
税金等調整前中間純利益	32,584	33,482
法人税等	9,900	9,102
中間純利益	22,685	24,380
非支配株主に帰属する中間純利益	208	871
親会社株主に帰属する中間純利益	22,476	23,509

## 【中間連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日)
中間純利益	22,685	24,380
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1,887	1,016
繰延ヘッジ損益	969	1,202
為替換算調整勘定	25,876	36,314
退職給付に係る調整額	696	981
持分法適用会社に対する持分相当額	4	6
その他の包括利益合計	26,101	35,153
中間包括利益	48,786	59,533
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	48,052	57,882
非支配株主に係る中間包括利益	733	1,651

## (3) 【中間連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	32,584	33,482
減価償却費	17,542	18,644
減損損失	304	375
投資有価証券売却益	72	838
受取利息及び受取配当金	1,000	1,536
支払利息	1,061	1,745
引当金の増減額（は減少）	1,160	3,019
売上債権及び契約資産の増減額（は増加）	14,231	20,811
棚卸資産の増減額（は増加）	33,428	21,593
仕入債務の増減額（は減少）	11,527	22,159
その他	5,123	2,597
小計	23,659	23,315
利息及び配当金の受取額	878	1,102
利息の支払額	1,157	1,902
法人税等の支払額	2,459	10,815
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,922	11,699
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	21,110	24,077
有形及び無形固定資産の売却による収入	701	56
関係会社株式の取得による支出	199	
投資有価証券の取得による支出	104	4
投資有価証券の売却による収入	176	1,106
短期貸付金の増減額（は増加）	37	81
貸付けによる支出	517	3,853
貸付金の回収による収入	552	2,694
その他	887	349
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,426	23,811
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	6,978	1,206
コマーシャル・ペーパーの増減額（は減少）	10,000	
長期借入れによる収入	15,785	16,424
長期借入金の返済による支出	3,334	8,974
社債の発行による収入		20,000
社債の償還による支出	10,000	
配当金の支払額	5,521	7,336
非支配株主への配当金の支払額	171	1,133
自己株式の取得による支出	17	10,027
その他	1,601	1,584
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,882	8,575
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,338	3,612
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	7,048	77
現金及び現金同等物の期首残高	93,727	100,235
現金及び現金同等物の中間期末残高	1 86,679	1 100,312

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間より、当社を存続会社とする吸収合併により消滅した住友重機械精機販売株式会社を連結の範囲から除外しております。

(第一種中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(中間連結貸借対照表関係)

1 中間連結会計期間末日満期手形

中間連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、当中間連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の中間連結会計期間末日満期手形が、中間連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
受取手形	770百万円	851百万円
支払手形	1,229	907

2 棚卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
製品	131,972百万円	153,574百万円
仕掛品	101,787	112,542
原材料及び貯蔵品	87,327	97,993

3 偶発債務

(1) 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入等に対し、下記のとおり保証を行っております。

	前連結会計年度 (2023年12月31日)		当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
三井住友ファイナンス&リース(株) (リース契約に伴う買取保証等)	3,598百万円	三井住友ファイナンス&リース(株) (リース契約に伴う買取保証等)	3,085百万円
(株)ダイヤモンド建機 (リース契約に伴う買取保証等)	592	(株)ダイヤモンド建機 (リース契約に伴う買取保証等)	667
NTT・TCリース(株) (リース契約に伴う買取保証等)	465	NTT・TCリース(株) (リース契約に伴う買取保証等)	465
みずほリース(株) (リース契約に伴う買取保証等)	368	みずほリース(株) (リース契約に伴う買取保証等)	368
東銀リース(株) (リース契約に伴う買取保証等)	126	伊藤忠TC建機(株) (リース契約に伴う買取保証等)	41
その他9件 (リース契約に伴う買取保証等)	170	その他9件 (リース契約に伴う買取保証等)	139
計	5,320	計	4,765

なお、前連結会計年度には外貨建保証債務48百万円(962百万円)が、当中間連結会計期間には外貨建保証債務20百万円(443百万円)が含まれております。

(2) 受取手形流動化に伴う買戻し義務

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
	3,178百万円	2,983百万円

## (中間連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
給料手当	29,321百万円	33,077百万円
賞与引当金繰入額	2,928	3,392
退職給付費用	1,500	1,516
貸倒引当金繰入額及び貸倒損失	1,286	191

## (中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
現金及び預金	90,772百万円	103,904百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	4,092	3,592
現金及び現金同等物	86,679	100,312

## (株主資本等関係)

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

- 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年3月30日 定時株主総会	普通株式	5,515	45	2022年12月31日	2023年3月31日	利益剰余金

(注) 2023年3月30日開催の定時株主総会決議の配当金の総額には、取締役等への株式報酬制度のために設定した株式交付信託に係る信託口に対する配当金3百万円が含まれております。

- 2 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年8月7日 取締役会	普通株式	7,353	60	2023年6月30日	2023年9月1日	利益剰余金

(注) 2023年8月7日開催の取締役会決議の配当金の総額には、取締役等への株式報酬制度のために設定した株式交付信託に係る信託口に対する配当金4百万円が含まれております。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

- 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年3月28日 定時株主総会	普通株式	7,353	60	2023年12月31日	2024年3月29日	利益剰余金

(注) 2024年3月28日開催の定時株主総会決議の配当金の総額には、取締役等への株式報酬制度のために設定した株式交付信託に係る信託口に対する配当金4百万円が含まれております。

- 2 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年8月7日 取締役会	普通株式	7,215	60	2024年6月30日	2024年9月2日	利益剰余金

(注) 2024年8月7日開催の取締役会決議の配当金の総額には、取締役等への株式報酬制度のために設定した株式交付信託に係る信託口に対する配当金4百万円が含まれております。

3 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(自己株式の取得)

当社は、2024年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,300,800株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取による変動なども含め、当中間連結会計期間において自己株式が10,022百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が11,200百万円となっております。

また、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、2024年6月20日（約定ベース）をもって終了しております。

なお、当中間連結会計期間末における自己株式には、取締役等への株式報酬制度のために設定した株式交付信託に係る信託口が保有する当社株式を含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社及び各連結子会社別に、取り扱う製品・サービスにつきまして国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、本社及び各連結子会社の製品・サービス別のセグメントから構成されており、「メカトロニクス」、「インダストリアル マシナリー」、「ロジスティックス&コンストラクション」、「エネルギー&ライフライン」の4つを報告セグメントとしております。

事業区分	主要製品
メカトロニクス	減・変速機、モータ、インバータ、レーザ加工システム、精密位置決め装置、制御システム装置
インダストリアル マシナリー	プラスチック加工機械、フィルム加工機械、極低温冷凍機、精密鍛造品、半導体製造装置、加速器、医療機械器具、鍛造プレス、工作機械、空調設備、防衛装備品
ロジスティックス&コンストラクション	油圧ショベル、建設用クレーン、道路機械、運搬荷役機械、物流システム、駐車場システム
エネルギー&ライフライン	自家発電設備、ボイラ、大気汚染防止装置、水処理装置、タービン、ポンプ、反応容器、攪拌槽、食品製造機械、船舶

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	メカトロ ニクス	インダストリアル マシナリー	ロジスティックス & コンストラクション	エネルギー & ライフライン	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	106,909	133,885	184,868	81,348	507,010	3,048	510,059		510,059
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	932	790	214	352	2,289	1,615	3,904	3,904	
計	107,841	134,675	185,082	81,700	509,299	4,664	513,962	3,904	510,059
セグメント利益	5,834	11,208	12,331	371	29,744	900	30,644	12	30,655

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ソフトウェア関連事業、及びその他の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額12百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	メカトロ ニクス	インダストリアル マシナリー	ロジスティックス & コンストラクション	エネルギー & ライフライン	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	101,022	131,096	196,199	88,774	517,092	3,262	520,353		520,353
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	933	726	192	274	2,125	1,732	3,857	3,857	
計	101,955	131,822	196,391	89,048	519,216	4,994	524,210	3,857	520,353
セグメント利益	1,838	9,051	17,978	3,559	32,426	951	33,377	47	33,330

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ソフトウェア関連事業、及びその他の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 47百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

当社グループの売上高は、主に顧客との契約から生じる収益であり、当社グループの報告セグメントを地域別に分解した場合の内訳は以下のとおりであります。

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計
	メカトロ ニクス	インダストリアル マシナリ	ロジスティクス & コンストラクション	エネルギー & ライフライン	計		
北米	21,287	12,746	67,442	8,358	109,832		109,832
欧州	27,406	21,494	12,294	12,269	73,463		73,463
アジア (除く中国)	9,539	19,217	16,617	8,477	53,849		53,849
中国	7,962	29,360	3,444	479	41,245	9	41,254
その他	8,013	3,772	9,520	5,329	26,635		26,635
海外	74,207	86,588	109,316	34,911	305,023	9	305,033
日本	32,702	47,296	75,552	46,437	201,987	3,039	205,026
外部顧客への 売上高(注2)	106,909	133,885	184,868	81,348	507,010	3,048	510,059

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ソフトウェア関連事業、及びその他の事業を含んでおります。

- 2 「外部顧客への売上高」は、顧客との契約から生じた収益及びその他の源泉から生じた収益が含まれております。その他の源泉から生じた収益には、リースに関する収益、不動産事業収益がありますが、金額に重要性はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計
	メカトロ ニクス	インダストリアル マシナリ	ロジスティクス & コンストラクション	エネルギー & ライフライン	計		
北米	21,325	12,461	77,448	8,409	119,643		119,643
欧州	22,797	17,257	9,171	17,540	66,765		66,765
アジア (除く中国)	10,195	18,952	22,433	7,206	58,787		58,787
中国	6,872	30,314	2,956	273	40,415	23	40,438
その他	8,225	3,345	6,686	7,119	25,374		25,374
海外	69,413	82,329	118,694	40,547	310,983	23	311,006
日本	31,609	48,767	77,505	48,227	206,108	3,239	209,348
外部顧客への 売上高(注2)	101,022	131,096	196,199	88,774	517,092	3,262	520,353

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ソフトウェア関連事業、及びその他の事業を含んでおります。

- 2 「外部顧客への売上高」は、顧客との契約から生じた収益及びその他の源泉から生じた収益が含まれております。その他の源泉から生じた収益には、リースに関する収益、不動産事業収益がありますが、金額に重要性はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり中間純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり中間純利益	183円49銭	193円26銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する中間純利益(百万円)	22,476	23,509
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 中間純利益(百万円)	22,476	23,509
普通株式の期中平均株式数(千株)	122,493	121,644

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり中間純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 当社は、取締役等に対し、信託を用いた株式報酬制度を導入しております。1株当たり中間純利益の算定上の基礎となる期中平均株式数には、その計算において控除する自己株式に当該信託口が保有する当社株式を含めております。(前中間連結会計期間 68千株、当中間連結会計期間 66千株)

## (重要な後発事象)

当該事項はありません。

## 2 【その他】

第129期(2024年1月1日から2024年12月31日まで)中間配当について、2024年8月7日開催の取締役会において、2024年6月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 7,215百万円

1株当たりの金額 60円00銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 2024年9月2日

(注) 配当金の総額には、取締役等への株式報酬制度のために設定した株式交付信託に係る信託口に対する配当金4百万円が含まれております。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の中間連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2024年 8月 8日

住友重機械工業株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松 木 豊

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 村 松 通 子

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 藪 前 弘

### 監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている住友重機械工業株式会社の2024年1月1日から2024年12月31日までの連結会計年度の中間連結会計期間（2024年1月1日から2024年6月30日まで）に係る中間連結財務諸表、すなわち、中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書、中間連結包括利益計算書、中間連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の中間連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、住友重機械工業株式会社及び連結子会社の2024年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する中間連結会計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

### 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「中間連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 中間連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して中間連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき中間連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 中間連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から中間連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

- ・継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、中間連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において中間連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・中間連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・中間連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、中間連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 上記の期中レビュー報告書の原本は当社（半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2 XBRLデータは期中レビューの対象には含まれていません。